



さ や ま



狭山ヶ丘幼稚園

令和2年2月

暖かい日も、寒さが厳しい日も、園内にはぎやかな声が響きわたっています。戸外でドッチボール・中当てゲームを楽しむ姿をみて、どの学年も、クラスの仲間や先生と関わり遊ぶようになり、充実感をもって生活しています。

今月に行う「子どもの会」に向けて本格的にクラスで展開されています。ちょっとした小道具で演じる側も気持ちが入るものです。ご家庭で用意していただくものがあると思いますがご協力お願いいたします。

さて、新型コロナウイルスで世の中が騒がしくなっていますが、家庭において、手洗いといういはしっかりとっておこなっていきましょう。

### 今月の目標

- ・絵本などのお話の世界で、創作的な活動に楽しく参加する。

### 今月の約束

- ・戸外から戻ったら手洗い・うがいをしっかりとしましょう。
- ・水道の栓はしっかりと締めましょう。

### 今月のうた

- 年少組 まめまき
- 年中組 ゆき
- 年長組 うたえパンパン

#### (確認)

- ・雪の日には濡れない手袋と靴下の替えを2～3枚お持ち下さい。
- ・通園かばんにキーホルダー等は付けない約束をしています。お子様と再確認して下さい。

### 保育活動

#### ◇ 年少組

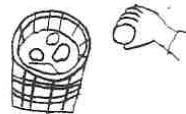
暖冬の影響で雪や氷を見られませんでした。先日の降雪で「雪だ～！」と大喜びでした。積もることはなかったものの、「また降るかな？」「雪だるま作りたかったな」とわずかな量でしたが雪あそびをしたくて登園後に支度をサッと済ませて「手が冷たいよ！」「水みたい！」と冬を感じながら、砂場はもちろんのこと園内を探検したり、鬼ごっこをしたりして寒さに負けず元気に遊んでいます。

先日、鬼のお面を作りました。まるい黒目を半分に折ると怖い目になることを伝えると「わぁ！すごい！怖い顔！」と目を折ったり広げたりしたためしながら角や鼻、口の色紙を「ここに貼ろう！」「角は何本にしようかな？」とそれぞれイメージを膨らませて作っていました。そのお面を壁一面に並べると「可愛い鬼だね」「わぁ！すごい怖い鬼がいる！」と会話をはずませていました。また、節分の日には自分の中にいる泣き虫鬼や嫌々鬼を大豆で追い払う話をする「泣き虫鬼？！負けない」「よし！鬼に負けない様にいっぱいご飯食べる！」「いっぱい寝て元気ためておく！」とかかわらしい発言もとびだしていました。さて、子どもの会に向けてパネルシアターやエプロンシアターのお話の中で言いやすい部分の掛け合いを楽しんだり、登場する動物になりきって鳴き真似をしたり、お面をつけてオバケになりきったりして遊んでいます。当日、たくさんのお客様が来ることは、音楽会を経験しているのですぐに結びつき「あ！ホールでやるの？」「ちょっとドキドキする」と楽しみにしているようです。劇の中で皆と一緒にセリフを言ったり、身体で表現して遊んでいくことからはじめ、他学年の劇や出し物を観ることで演じる楽しさへ変わっていきます。しかし、年少の時期はお客様に観てもらうよりも自分たちがお話の世界を楽しんでいるようです。当日はなりきって楽しむ子どもたちの様子をご覧ください。

#### ◇ 年中組

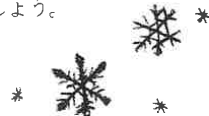
本格的な冬の寒さが訪れ、外では霜柱を見つけて「これ何だろう？」「こっちも凍っている！」「ザクザクするよ」と足で踏んで感触を楽しみ冬ならではの発見をしています。まだまだ寒い日は続きますが、外に出る機会を作り、「鬼ごっこ」や「中当て」「縄跳び」などの遊びを取り入れて身体を動かすと温かくなるということを経験していこうと思います。

先日、味噌作りをしました。味噌が大豆からできていることを知り、その大豆をよくつぶして麹と塩をよく混ぜ合わせ、お団子のように味噌玉を作りました。今年の年長が作った味噌を味噌種にして仕込んであります。これからもずっとリレーのように味噌種を翌年の学年に渡せることでしょう。



さて、子どもの会に向けては、劇遊びをする中で、お話の面白い部分や楽しい言い回しのところを繰り返し役を交替しながら遊んでいます。「私、ネコがいいな」「僕は警察にする」「私はケーキやさんにしよう」と自分のやりたい役を選びました。そして「お面が欲しいな」「ごちそうも作ろう」「窓もいるね」と子どもたちから出てきて、劇に必要な大小の道具を担任と一緒に色塗りする所から楽しく作り始めました。

又、劇の他にも、各クラス自由な遊びの中で楽しんでいた普段の姿からそれをゆり組は「むしのせかい」「きく組の警察訓練所」「ばら組キヤッツ」の中で、踊ったりなりきって表現する姿をご覧いただけたらと思います。「こんなポーズはどう？」「いいね！」「どんな着るの？」とだんだんイメージは膨らんできました。楽しいセリフのかけ合いから、観てもらおうお客様に伝わるような劇にするまでは、まだ時間がかかりますが、年長はどんな発表をするのか、他のクラスがどんな内容のかも興味津々です。互いに見せ合う事をしていながら、自分たちが楽しく演じる段階から、演じて観てもらおう楽しみを感じていくことでしょう。



#### ◇ 年長組

比較的暖かい冬でしたが、寒さが増す時期になりました。「雪、降らないねー」「雪が降ったら雪合戦がしたいなあ。」と待ち遠しくしている様子です。

先日、行事制作で鬼のかつらを作りました。年少・年中と節分の豆まきを経験してきた子ども達ですが、最終学年となった最後の節分は『年長鬼』として節分に参加をします。「年長が鬼になって驚かせに行くんでは？」「泣いちゃわないかな？」「楽しそう！」と制作に楽しく取り組んでいました。角の色から髪の毛の色まで、子ども達の個性が溢れており、ステキなかつらが仕上がりました。「早く被って驚かせにいきたくないな。」と他学年を訪問する日を待ち遠しくしています。制作への取り組みの様子や、アイデアを出し合っぴらめく子ども達の様子を見ると、やはりこれまでに経験してきたことが繋がって、生かされていくのだなと感じています。

そんな子ども達の最後の行事となる『子どもの会』が今月末に迫っています。昨年から、劇と遊戯というような形にせず、他にどんな表現があるか考えて、取り入れていくことにしました。劇の中にお遊戯の要素があったり、先生だけでなく黒子の子ども達がウッドブロックやギロ等の楽器を使って、タイミングをよく見ながら音効の役目を担ったりもします。なかなか難しい場面もまだありますが、子ども達自身もよく考えており、子ども達が主体で作り上げる会になっています。自信の無さからセリフを言うときに声が小さかったり、物の出し入れがスムーズにいかないことがまだ多いですが、これからの練習の中でタイミングを感じ取ったり、流れが身体に入ってきてわかると、自然と劇が流れるようになってくるのだろうと感じています。劇や、様々な表現にもワクワクと取り組む子ども達と一緒に、楽しみながら進めて行きたいです。

今年度もあと2ヶ月を切り、1日1日をより一層大切に感じています。寒さや乾燥が気になる時期ですね。感染症やインフルエンザに負けず、予防に気を配りながら元気に過ごしていきたいです。

